

新華ファイナンス/MNI 中国業況判断調査 2月業況判断は大幅悪化

上海（2008年2月29日）－ 中国ビジネスコンサルタント大手の新華ファイナンス（東証マザーズ：9399）と、同社系列のニュース部門であるマーケット・ニュース・インターナショナルが実施した2月の中国業況判断調査によると、強烈な冬の嵐によって生産に障害が生じたうえ、すでに上昇していた仕入れコストも一段高となったことから、総合業況判断は大きく悪化しました。

各指数や調査対象企業からのコメントは、この冬の嵐によって物価が上昇し、停電も発生し、そして製品輸送にも支障がでてきており、国内企業が打撃を受けたことを示しています。

業況現状判断指数は、調査開始後の3年間で最低となる60.31に急落しました。1月は67.72となりました。ただし調査結果は、対象企業が今回の業況判断の悪化は一時的なもののみていることも示しました。3カ月将来に関する先行き判断指数は、1月の66.93から71.65に上昇しました。

2月の生産現状判断指数も急低下しました。一方、仕入れ価格判断指数は調査開始後の最高水準まで上昇しています。

2月調査は、2月13-26日の期間にサンプリングされました。

2005年1月に開始された同業況判断調査は、中国経済を正確に把握し、経済状況全般の流れを予想し、政府による経済指標の発表に先行して貴重な情報を提供してきました。同調査は、経済の転換局面、例えば昨年夏の景気減速や秋口以降の立ち直り局面などで、特に有効性を発揮してきました。

新華ファイナンス/MNI 中国業況判断調査、完全版をご希望の方、そして新華ファイナンスやマーケット・ニュース・インターナショナルに関する詳細をご希望の方は、mni@xinhuafinance.comまでお問い合わせください。



新華ファイナンスについて

新華ファイナンス・リミテッドは、中国随一の金融情報およびメディアサービスを提供する企業で、東京証券取引所マザーズに上場しています（コード：9399、ADR：XHFNY）。

中国の金融市場と世界とを結ぶ架け橋として、金融機関、事業会社、情報配信業者などに対して、インデックス、格付、金融ニュース、IRサービスなどの商品を提供しています。また、子会社である新華ファイナンス・メディア（米国ナスダック：XFML）を通して、中国国内のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌、屋外メディアなどのメディアに独自のコンテンツを提供しています。グループの設立は1999年11月で、上海の事業本部をはじめとして世界11ヶ国にオフィスやニュース支局を構えています。

詳細は、ウェブサイト：www.xinhuafinance.comをご参照下さい。

マーケット・ニュース・インターナショナルについて

マーケット・ニュース・インターナショナル（MNI）は、新華ファイナンス（www.xinhuafinance.com）の子会社で、世界の債券と為替市場に特化した金融ニュースおよび情報サービスを提供しています。2004年3月に新華ファイナンスの傘下に入ったMNIは、特殊専門分野でのノウハウと大規模な配信ネットワークを新華ファイナンスにもたらしました。本社をニューヨークに置き、欧米およびアジア各地に支局を展開しています。金融市場の専門家向けに20年以上にわたって提供しているサービスの信認は厚く、ホワイトハウス、米連邦政府、米上下院、主要な政府機関や立法機関、G7各国の政府機関での取材を認可されているほか、世界銀行やIMFといった国際機関でも取材認可を受けています。